

水源禪師法話集 98

(2018 年 7 月 20 日 カナダ合宿一日目)

2019 年 2 月 25 日

一乗禪の会



目次

水源禅師法話

タサガタと深く関係している「身、口、意」	3
Right View/Right Action/Right Thinking 言葉と行動を一致して	4
私達は分かっている様で実際は本当の事を教えられていない	5
太陽光パネル、風力発電は強い電磁波	6
護摩焚の本当の意味	6
人が死んでも騒がない恐ろしい時代	7
言語が変わると、本来の意味が伝わらなくなる	9
身・口・意の行をやり、良い事をする事が最高の供養になる	10
仏教ほど深く人権に帰依した教えはない	10
死後の実父を救った禅師身口意の極意は行をして只良い事をする	13
体験も無く、確かめもせず、それは恐ろしい事	13
死の直前のスダッタを涅槃に上げたお釈迦様	14
カブールの大地の神々に大乘経の極意を教えてもらおう水源禅師	15
正しい情報を得なければ大いに間違ふ、それだけ強烈	17
死の行を奨励したデバダッタと命を生かすお釈迦様	18
サードゥの意味「良きかな」デバダッタの「強烈な行」の意味も	18

水源禪師法話

タサガタと深く関係している「身、口、意」

【水源師】

せっかく日本から来て、一番何か聞きたい話があればそれをお話しようかなと思うのですが、どうでしょう？

【参加者】

身、口、意について教えて頂きたい。

【水源師】

身、口、意 はい。まあ、難しいと思いますが、言葉で。身と口と意識、意識と言うのはコンシャスネス consciousness、英語で言えばね。それは、クサラ、アクサラのエリア。結局、良い心良心とか、不良心とかいう、それで心という訳が非常に難しいわけ。何を意味しているか？

それが心というのはやっぱり、仏教ではタサガタ (Tatha Gata) ということに深く関係しているのだけれども、それも説明していないわけです。だから仏とか如来というところも説明していないから、非常に不可解な、ぼけて墨絵のようになるのだけれど、やっぱりインドの人はサンスクリット語が今でも分かるから、それで言葉とかその使い方が分かるからね、やっぱりあっちの方のお話を聞いていたら、非常に明快によく分かります。

それで日本も漢字を使うでしょう？中国本土の漢字の使い方と日本ではまた違うわけ。日本の漢字の解釈であって、中国の元々の解釈とはちょっと違うわけ。という風に特に、身、口、意となれば、それはサンスクリット語でどの言葉に当たるかという説明がない。だから皆ぼけてしまう。で、英語でどういう事になるかと、他の言語との対比が無いものだから、日本語ばかりで考えるでしょう？

ところが、お釈迦様は日本語でお話してないのですよ。中国語でもお話していないし、タイ語でもお話していない。お釈迦様の言葉はマガタ語と言ってパーリ語でお話していたわけです。サンスクリット語でもお話していないわけです。もちろん書ける、高級な教育を受けているから全て分かるけれど。皆に分かる言葉でお話していた。ただしバラモンとの討議の場合は、サンスクリット語という今でいう英語みたいな共通語でお話したかもしれない。非常に哲学的なウバニシャッドとかそういう、ヴェーダナとかヴェーダという討議に入って行けば。だから日本で身、口、意は分かったようで分からない。

Right View/Right Action/Right Thinking 言葉と行動を一致させなさい

それで心というのは、心とタサガタの関係も非常に大切な事。そのタサガタというのは。一番近い日本語は仏性という事。仏の性、仏性、タサガタ。これも未だに日本では説明していない。英語ではそれは、ブッダネイチャーと言うわけです、タサガタ。

だから身、口、意という言葉のそれを大切にしなさいという事は、いつでも言葉と行動を一致しなさいと、その事だけ。言った言葉と行動をいつでも一致しなさいと。身、口、意、身→体でしょう？体。口→言葉でしょう？、意→意識、だから身、口、意となって、それが心に反映してくるわけです。

それで心の本来は、心、心と言う事で一切説明してないわけです。その心に気が付いた時に悟りの世界に入っていくわけです。心というのは一体何か分からないから、結局アビダンマで意の法をやるわけ、クサラとかアクサラとかファンクション(機構)ね、コンピューターみたいに、そこは複雑だけれども、それをやりながら今度は時空を超える修行をさせていくわけです。それで因縁の世界が観え始めてきます。

だからそういう事をやってもなかなか、今度は日本語、英語、パリー 語でもまだダメで、インドの古代のサンスクリット語を使っているインドの映画を見た時に、それがとても映像がもっときれいに観え始める。日本語では墨絵の様に観えるからこれは非常に難しい。

というのは、私たちは今持っている情報が、全て疑問符が付くようになってしまっている。昔はDNA,DNA、DNA 自体が分からないわけ、一体どうなっているのか？深い意味で。それで化学記号、化学記号でケミカルそれも分らない、色んな複雑な事があって、それで今の電気自動車は、特別なバッテリー使うでしょう？ああいう事は考えられなかったわけ。

あのレアメタルという、その磁石というのは鉄に電気コイルを巻いて作って、それしかなかったのに、突然このレアメタルを入れれば、強烈な磁石が出来るという事は、私たちの時代には誰も分からなかったわけです。今それがどうしてその強烈な磁石が出来るか誰も言っていない、誰も説明していない。特にそのレアメタルを使ってセルフォンあるでしょう？だから遠い宇宙からの電波もキャッチしていると。完全に空想科学小説の世界。それでそれがどういう風になるか私たちは何も分からない、ただ使っているだけ。言われるままに。

だから確かめようの無い教育を受けているから、一方的な教育だけだからラジオみたいに。質問しても回答が無いわけです。だからほとんど一生棒に振ってしまうね、生きている間、ただ働いて死んで行くと。だからその中でお釈迦様は、身、口、意のこの3つをいつも正しく持ちなさいと。それを八正道の指針でもって生きて行きなさいと。

ところがそれもまた難しいから、印幻先生は「嘘をつかないで、真面目に、人の為に

尽くしなさい」と、もうそれが全部入ってしまう。これほど簡単なことは無いわけです。お釈迦様はもっと明確に正しい見方、ライトビューということを説明したでしょう？ライトアクション、ライトシンキング、それはそうだけれど、何が正しいかその情報が今無いわけです。

私達は分かっている様で実際は本当の事を教えられていない

今アメリカのドナルド・トランプ大統領がプーチン大統領と会談してもう、やんやんとごうごうと非難を受けているけれど、前ジョージ・ブッシュ大統領もあつたし前オバマ大統領もあつたし、歴代の大統領皆、ロシアの大統領に会っても何も言わないわけです。突然こういう風にしてその意味も分からずに一般の人は、一方通行で教えられているのだから、メディアも騒いでそうだそうだとなって、何も分からないで「そうだそうだ」と言う現状の今が、惨憺たる日本の今の知識界であり、どうやって良いか分からない状態になっている。

結局検証なく外国の知識をそのまま入れて受け入れてしまったから、もう先が無くなってしまったわけです。前はくっ付いて行けば、みんなそれが正解だったけれども、正解を与える所がもう全部崩壊してしまったから、日本自体が正しい知識で見なければいけないのだけれど。それはね、その手法が今日本にはないわけです。アメリカとか西洋はね、隠したサイエンスがあるから、絶対自分の外には教それをえないわけです。それをなぞ、なぞ解きでやろうとするから一体何が何だか分からないわけ、それが現状の今なのです。それでそのなぞ、なぞ解きをやろうとしたら、徹底的に間違った報告を教えて絶対に出来ないようになっています。

でもさっき言った様に、このレアメタルを使った磁石とかセルフォンのアンテナね、これは地球外知識、地球の中で絶対にアインシュタインの理論から、サーアイザックニュートンの知識では解析出来ないところにあります。それから私もメタロジーマetallurgy と言って鉄鋼とか金属の勉強もしていますから、絶対に私が習った大学では、普通ではこのエリアは分からないわけです。

ただ何故か秘密を持っているのはロシア、とても強烈なメタロジーマを持っているわけです。それを追従するのがアメリカで、アメリカもそこまで分からないわけです。突然そういう風に、こういう知識が入って来り。

それから火星には生命体がないと言っているけれども、今はもう水もある、生命体もあると、全てどんでん返しを繰り返すのです。それで考古学を調べても、もうどんでん返しで五千年以上前の歴史は無いと。今は一万三千年前のトルコの Göbekli Tepe という遺跡が発見されて、説明ないわけです。

それからエジプトのスフィンクスあるでしょう？あれは岩が水で溶けているわけです。あそこには水が無いわけです。水がある時代は一万二千年から一万三千年前はあつ

たと云われてます。エジプトの下のピラミッドの下の石は、二百トンとか百トンとか巨大な石をきれいに削って作って、今でもそのように削る事は出来ないのです。それも硬い石、説明なし。ところが私たちは教科書で全部分かっているわけです。というつもりで私達は、実際は何も本当の事を教えられていないのです。

太陽光パネル、風力発電は強い電磁波

【参加者】

結局、電磁波でやる？

【水源師】

そうそう。電磁波で強烈にあれば非常に、結局何か今は風で起こす風力電力あるでしょう？あれは強烈な電磁波を出すみたい。

その昔中国で 10 年以上前に旅をした時に、砂漠の中に累々と何十キロも風力電力があるわけです。何故かな？と思って、まあ使わない所で使うから良いと、ところがあれは強烈な電磁波を発射するからそのそばで住めば体がやられるみたいですね。

だから遠い海の上か、そういう所でなければいけないけど、日本は風力電力を作る場所は、山とかそういう所だけれど作る場所がないわけです、はっきり言って。小豆島で風力発電やったけれど、そばで住んでいる人がおかしくなっている。

【参加者】

太陽光パネルも凄く電磁波を発していますか？

【水源師】

そうかもしれない。まだその情報は分からないけれども、現実の話、私も今の会社で電気部に勤めていたから、そこにインプラントした人がいて、足に鉄を埋めて、ガタガタになって動けない。お医者様はもう若いようになって、元気になって飛んでも、走ってもいいと。とんでもない話で。それを信じて入れたおかげで、電気部に入って体が壊れてしまつて。お医者さんに責任なし、何も責任なし。

護摩焚の本当の意味

まあ、宗教をやる人が人の命を導くから経典の解釈は本当に正確に現実と合わないといけないわけです。お釈迦様は全て自然の水の流れ、風の流れ、自然の状態を皆さんに見せて真理を説いたわけなんです。言葉がこうだ、言葉遊びではなく、実際のことを観ながら。

ある王様が、お釈迦様に「私の先代のお父さん、お母さんが死んだから、供養をするお祭りに来てくれ」と。「儀式やってくれ」と、「火の祭りをするから来て下さい」と。

その当時、今の日本みたいに護摩焚きが流行っていた、全インドも昔から護摩焚き。カブールも勿論、アフガニスタンも、全部護摩焚き。その継承が日本で中国から来て、今残っているけれども。確かにあの手法も凄いもので、何故かと言えば仏教の極意のブラフマ・ビハーラ(四梵天住)を使っているからです。

そのブラフマ・ビハーラということも明快に日本では説明していない。ただマントラでお終いだから。実際に本当の意味は何が何だか分からないわけです。ただやればコンピューターみたいに機械操作でそれが出てくるわけです。その作法を知っているけれど中身を分かっていない。

だから一旦間違っただけで大変な事になるわけです。やらない方がまだましなくらい、強烈な力が発生します。

【参加者】

特別な木で作るのですか、護摩焚の木は？

【水源師】

いや、特別ではなく、木とかこう組み合わせがあるけれど、何でも良いのだけれど、やっぱりそれは、身、口、意に関連してくるわけです。心がしっかりしてなくてやれば大変な事になる。

【参加者】

行を達してから？

【水源師】

勿論、行を達するには、心がしっかりと何が正しいか？何が悪い？結局一番簡単に、嘘をつかない、真面目に、人の為に尽くしなさい。この三つの行動が外れれば、行は出来ないようになっている。だから人のためには命を掛けても救いに行かないといけないわけです。

人が死んでも騒がない恐ろしい時代

今日本では酷暑で、お坊さんが真っ先にその解決方法を出さないといけないわけです。特に小学生が命を落としたと、これは国の大問題、誰も何も言わない。恐ろしい時代になってしまった。

その昔、歯医者さんの息子さんが、さらわれたのですよ。それで日本中で大問題に

なって騒いで、騒いで、歌まで作って、なんていう名前だったかね(吉信)。今、人一人死んでも騒がないのですね。これは大変な事態に国になった事です。工事で二百名以上の人が死んだ、「あ、死んだ」でお終いです。

これこそ滅法にはなっていないけれど、末法。滅法と言うのはカブールで見たけれど、国中でお互いに、殺し合いやっているわけです。神は殺す事を許しているのか、いや許していない。じゃあなぜあなた方は、同じ国民が殺し合いしているのと。

これは聖書に書いてあるカインとアベルという、最初にカインがアベルを殺したと、その時神が罰したでしょう、というカイン。あなた方は兄弟同士で殺し合いしているでしょう、今。これは聖書の神の意志に反している、のじゃないですかと。という風に宗教家は他の宗教が何をしているかも分からなければ、ただ自分だけの言葉を言っても人を導けないです。



護摩焚きをする水源師 インドネシア、ボルブドゥールにて

言語が変わると、本来の意味が伝わらなくなる

お釈迦様は全ての他の経典も読んで、哲学も読んで、当時の最高のバラモンの最高の長のバラモンと討議した時に、そのバラモンが回答出来ないで、逆に頭下げて弟子になったわけです。それを見た宮殿の給仕が怒り狂って、裏切り者と罵ったのです。

だからバラモンといっても、良い心、心の修行だから、相手が偉ければ本当に頭下げて弟子になっていくわけです。バラモンというのは命を掛けて修業をしているから。今でもインドでヨガとか、厳しい苦行をしているのを目にしました。

カシャパ尊者も凄いバラモンの行者だったのです。質問があつてお釈迦様に質問があつて答えれば、もうすぐに悟って、なるほどと思つて弟子になって、お釈迦様はシャリープトラかマゴラナ尊者(大目連)かシャリー尊者を期待していたけれど、両者とも他界されて、迦葉尊者ね、カシャパ(迦葉)、だからこの言葉、もう日本では何が何だか分からない言葉になってしまっています。

で、あるお坊さんがそんな英語で言われても分からない、日本語で言ってくれと。お釈迦様はね、日本語でお話しなかった。インドの人は日本語でお話しないわけです。ところが勝手に日本で変えてしまうものだからもう、チンプンカンプンになってしまう。日本語と本来の教えがめちゃくちゃになってしまっている。

それで今回分かったのだけれど、達磨大師様がカブールを通過してインドに帰ってきたわけです。何故かという、カブールは六千年のシルクロードの重要都市で、ヨーロッパからローマから中国から全部ここを中心に交易していて、金剛般若波羅蜜多心経とか金剛山とかあるでしょ。これはブロンズのこと、金剛。ここから来ている。

それでカブールには凄い銅の鉱山があつて、ヨーロッパには銅の鉱山がないわけ。銅が青銅で武器になって、ローマ軍もこういう風に言葉、言葉と言うのは二千六百年前、日本はたった百五十年前のあるべきよう口という京都の地方語がもう忘れ去られて、これは何を意味するかという事を私が説明したけれど、百五十年、二千六百年前の言葉。

あるお坊さんが、そんな英語で言われても分からない、何を言っているか分からない、という風な現状になってしまっている。本当に勉強しないのですね。本人はとても難解な勉強をしているつもりでいます。

マントラもサンスクリット語で書いているわけ。その当時、バラモンも皆サンスクリット語で言っているから。これも亜流であつて、本当はパリー語、お釈迦様はパリー語でお話したわけです。

身・口・意の行をやり、良い事をする事が最高の供養になる

だからその王様が「儀式して下さい」と。「護摩焚きやって。お父さん、お母さんを供養したい」と。その人の名前は忘れたけれども、素晴らしい王様で、「はい、行きましょう」と言って、そこで、王様に二つ壺を用意させた。絹を入れた壺と、もう一つの壺はギー（醍醐）そういう美味しいものが入った壺。日本では醍醐味のあれはインドでギーと言って牛乳の油で薬用としても使用して、醍醐とかそういう風にととても美味しいと云う、言葉から来ているわけです。そういう壺を二つ持って来て下さいと。

護摩焚きの教団があるけれども、そこにはお釈迦様は案内しないで、行かないで、じゃあ本当の儀式を見せてあげるからと。それで王様が付いて行ったわけ。それでその王様にあなたの両親を供養する為に、あなたに儀式を教えますと。この壺があるから、この壺を川の上で割って下さいと。王様はぽんぽんと二つ割って、一つの壺は全部沈んであの絹の、それからもうひとつの醍醐味の美味しい五味と言のかね五味と、それが入った壺を割ったわけ、ぽんと。両親の為に。そうしたらそこから絹は沈んで、それからギー（醍醐）が浮かんで、こういう風に人生でも、良い事をすればこういう風に浮かんで救われると。

ところがもし生きている時にこういう風なシルクとか贅沢して何もしなければ沈むと。だからあなたが本当に供養したかったら、お父さん、お母さん、あなたがこの世で一生懸命修行して、それから良い事しなさいと。それが最高の供養になりますと。そう言われたわけですね。これが本当の供養の儀式ですと。

それで王様が明快に分かったのです。それから心を入れ替えて身、口、意の行をやる。体を使って結局自然ね、自然と労を見てこの中にダンマ、法があると。頭ではないと。実際の物を見て、体と言葉、言ったことを嘘つかない、さつき印幻先生の言った、嘘はダメですよと、真面目に、人の為に尽くしなさいと。国の為に尽くしなさいという事です。

仏教ほど深く人権に帰依した教えはない

それをやらなかったら、今のアフガニスタンみたいに殺し合いやっているわけ。私もホテルに泊まった時、バン、バンと爆発の音聞こえるからね。ダッダーとその響くからね。それは凄い、大砲の音だから花火とは違いますよ。私がいる時もすぐ近くの国務省の役人が六人殺された、バン、バンと入って来て。それで警官もう命からがらで、ちょっとした金持ちは兵隊雇って、町中動いて。一般の人はもう町の道路の中に寝り、夜になれば公園を閉めるから公園にも寝られない。ここが滅法の世界。法が無い世界を見えました。

だから身、口、意を使って本当の法を得る、ダンマを得ると。それは難しい事ではないわけです。言葉と行動を必ず一致して良い事に使うと。これが身、口、良い事が無ければギャングになり、他所の国を攻め入って、人を殺すと。だからお釈迦様ほど戦争に反対した方はないわけです。で、お釈迦様ほど人の命を考えた方はないわけです。

その当時女性を教団に入れると言う事は、もう最悪の事態だったわけ。女性というのは最も、男尊女卑、卑なわけ。汚いものと。それでお釈迦様は其中で一番可哀そうな階級の女性の中でも、遊女まで助けていくわけです。

という風にこれほど人権に深く帰依した教えはないわけ。だから仏教と人権が合わなければこれはもう仏教、お釈迦様の教えから外れるから、仏の仏教にならないです。

だから仏国日本で、私が十代だったかな、今から六十年くらい前、吉信ちゃんという、

【参加者】

誘拐事件？

【水源師】

そうそう、もう大騒ぎしたでしょう？今は人が死んでも名前も出てこないよ。

【参加者】

吉信ちゃん誘拐事件ってありましたよね。

【水源師】

人一人でもあれだけ騒いだのに。

【参加者】

今は知らないうちに沢山亡くなったり、いなくなったりしていますよね。

【水源師】

そうそう、今もう219人の人の生命体が死んでも「あ、そうか」で、何か完全に狂ってしまっているね。仏国の滅法じゃない、日本でもここまでだから、その滅法のアフガニスタン見たらもう民にとって最悪の事態です。

ちっちゃい一寸法師以下のこう言う銅像持ってきたでしょう？これも禁じられているのですよ。でも税関通る時にちっちゃいからみんなOKで。これくらい大きいものだったら法律にかかるから私も持ち出せない。あっちの役人とか、政府関係の人のお話聞いて、いやこれは危ないからと。私もそう思って持って来なかった。博物館級だからね。

博物館にタリバンが入って壊したって、バンバンと。それをもう一回修復して今博物

館で見て写真撮って来たけれど。それで私が言ったわけ。「あなた方はお父さん、お母さん大切でしょう？、ご先祖は大切でしょう？あなたの宗教では、両親を尊敬しない人はモスク、教会に入れないでしょう？」「そうです」「あなた方はお先祖様の仏像を全部壊したでしょう？エジプトでも壊していない、シリアでも壊していない、やったのはあなたがただけですよ、ここまでやったのは」黙っている。「神が言ったでしょう？これは神の言葉ですよ、あなたの神の言葉ですよ、教会に入れないとそういう事をしたら、完全にあなたは神を裏切っているわけですよ。あなたの神の教えに」黙っていました。

という風に仏教を教える人も、この仏教が何だかわけの分からない言葉、さっき言った日本のあるお坊さん、「私分からない」と。これでどうして世界の人に仏のこの偉大な教えを広めることが出来ますか？日本語習わなければいけないの？日本語で習っても原語のヒンディー、マガタ語のパーリ語分からなかったら、話しにならないでしょう？たった百五十年前の日本語でも今分からないのに。今の日本語も半分は、カタカナ英語が入って来て、何が何だかさっぱり分からない日本語になってしまっ。不安定になって。漢字の使い方中国本国と全然違う漢字の意味になっているから、経典訳せるわけが無い。中国の経典もアフガニスタンを通して北伝から来たものだから、アフガニスタンは昔北インドの帝国でインド語だったわけ。それすら忘れて、ただチベットは直接アフガニスタンからチベットに上がれるから、相当な情報が入って行って、今でもブータンは護摩焚きやりますね。という風にお釈迦様は、本当の護摩焚き以上の儀式は、本当の真理を観て、そしてあなたが修行して、人の為に尽くしなさいと。これが本当の供養ですと。



説法をするお釈迦様

死後の実父を救った水源禅師、身・口・意の極意は修行して、只良い事をする

私のお父さんは、商売人だからあんまり宗教も嫌いだし、信じないし。そういう生き方をしていた方で、悪い事はしなかった、道徳的に非常に高い人で。でも、儒教にも深く研鑽して人の為に尽くすと。でも商売したものだから、死んだ後、良い所に行かなかったわけです。

それで私がお父さんがどこにいるか探し出して、修行していたものだから、そこから出してあげて、お母さんが死んだ時に三途の川を超える時に、お父さんがしょって(背負って)渡って、対の彼岸に渡ったわけです。

という風にお釈迦様の言っている事は本当の事。本当に供養したかったら、あなた自身が修行しなさいと。それで良い事をしなさいと。これが本当の身、口、意の極意です。これがなければ、いくら般若心経読んでも、意味なし。

お釈迦様はこの般若心経の極意を使って、スダッタという祇園精舎の長者を涅槃に上げてしまった。そういう話も伝わっていない。これは私が法髓観しているから、お釈迦様のやった事が、何を話してどういう事をやったかすぐ分かるけれど。これを文学的に解説しようとしたら、とんでもない話で千年経っても分からない。これが本当の身、口、意と言うことです。

【参加者】

お父様がお母様をしょって(背負って)。

【水源師】

そうです。それでその後、お母様が出てきて、息子よ、心配するなと、行った場所を教えてくださいました。なんと阿弥陀の国に行かれた。後でそれが分かった。浄土に行ったわけ。という事を観てくれたのです。

体験も無く、確かめもせず、それは恐ろしい事

有名なローズウエル、UFOと言う事が1947年に発生して、その時に宇宙人とのインタビューがあるわけです。それは超極秘で発表されていないけれども、近年においてそれを私が発見して聞けば、宇宙人でさえ私たちは最高の宇宙の知識を持っていますと。この地球でただ一人正しい事を言っているのはゴードマブッダだけですと。

この宇宙人の生命体は、無色の世界の人です。それ自体も分かっていないはず。修行しなければ、欲界、色界、無色界も分からないわけ、ただ言葉だけ。

ただ居て、「本当の意味を体験したのですか」と。いや、書いていることを並べるだけ。

だから日本の英語で言っては分からない、日本語で言って下さいと言う人に「じゃあ、あなたそれを観たのですか？」と。「観てない」と。で、べらべらべらべらとそれでお終。結局、皆言葉自体でその世を界観ないで、ただ言っているだけで、それを確かめてないわけ。これで分かったつもり、なのです。

恐ろしい事です。ただ日本の千年、二千年にわたる長い間お坊さんが、一生懸命日本の心を開拓していったから、やっぱり日本の方の心は優れています。また仏界の中国、韓国、東洋の心はとても優れている。物質では余りないわけですが、まあそういう事です。

身、口、意の意味するところは、つまり心にあるわけですね。こういう事の現象を仏性、タサガタ、ブッダネイチャー、という事で、これがカルマの強烈な力、だからカルマも良い方に向かえば因縁もこういう風に良くなって、逆に悪いカルマ、カルマと言うのは悪い事ばかりではなく、悪い方向に働けば強烈に悪い方向になって行きます。

死の直前のスダッタを涅槃に上げたお釈迦様

だからこの身、口、意を本当に理解して行動すれば、こういう事になる。それをちゃんとお知らせを受けたのも、四十九日の供養をやった後で、このビジョンがスーっと出て来るわけです。

49と言うのはお釈迦様が、ブッダガヤで49日座ったのです。最初の一週間は、木の下で、その側でまた一週間行ったり来たり歩行して、それをズーっともう一回噛み砕いて、それでまた一週間、丘の上からじっと菩提樹を観て、でまたその一週間後は、その森の中にジーっと入って、トータルで7週間そこに行って、最後は、ズーっとそれを観ていた時に、大雨がどーっと降ってきたて、その時にナーガが出てきて、傘になって防いでくれた。でこの身、口、意の極意を般若心経の中に秘めて、その秘めたそれを使って祇園精舎の長老スダッタを涅槃に上げました。

死ぬ直前にアラハトにしたわけですね。それくらい般若心経の本当の使い方というのは凄いもの。勿論お釈迦様は心を込めてお祈りすると。般若心経を唱える。それでまた一生懸命瞑想もしなければいけません。

お釈迦様は口ではなく実際の川の流れを見せて、そしてそれを実際に確かめて見せて法を教えるわけです。実際と言うのは全てはカルマで、因果関係、水の流れ、重いものは水の下に沈む、そこで浮き上がるものは、水より軽いから浮き上がると。ただそれをさっきも言った醍醐味という、こういう風に人生で良き事をすれば、こういう風に浮き上がると。という風に見事な法を伝えていくわけ。実際見るのと、話し聞くのは全然違います。

それからビルカバンバでも瞑想も川の側で水を見せて瞑想させるわけです。そうすれば水を見て実際の物を見せるから、その効果は全然違いますね、ただ座るのと。そ

れも木の下でね、ちゃんと座らせて。デバダッタが言う様に、皆木の下で座れば良いものだ、そんなものじゃないですよ。

木の下に座って実際の事を見せて、実際の法を教えるのと、全然ただ座るのとは全く意味が違います。だから身、口、意、身、口、意と皆さんが言っているけれども、これも空念仏で、そこまでしっかり分かれば、般若心経を使って涅槃に上げるくらいの力がなきゃだめなわけです。

という風に凄い事なわけで。まあそれは後で編纂されて、龍樹菩薩様が多分編纂されたと思いますね、その佛説摩訶般若波羅蜜多心経と言う。お釈迦様はその中の一番大切なところを使って祇園精舎の長者スダッタを涅槃の世界に上げてしまった。それもダンマヌパッサナーを法随観をやっているから、何をしたか分かって、どういう風な繋がりか般若心経と繋がりがあるか明快に分かるけれども、それをしていなければ分からない。ただ話でお終。という最後の触りで。

カブールの大地の神々に大乘経の極意を教えもらう水源禪師

【参加者】

あの時代は言葉が書かれたものがありますか？

【水源師】

勿論ヴェーダーと言うサンスクリット語で、世界一古い五千年の経典があるわけです。バラモンの、ウッパニシャッドとかインドの人は一万年だと言っている。五千年と言うのは西洋の人類史は五千年しかないから、五千年だけれど、それは、西洋の人が付けた事であって、本来のインドの人は違うと。

私たちの歴史は四万五万年の歴史がありますと。その証拠にビィバナという宇宙船を持っていますと。それがアフガニスタンで発見されて、それをジャコズフランス大統領、オバマ大統領が見に行ったらと報告されています。

【参加者】

アフガニスタン？

【水源師】

はい、そうです。それでジョージ・ブッシュ大統領も見に行ったらそうです。

【参加者】

凄い国なのですね、アフガニスタン

【水源師】

そうです。凄い秘密があると。それで私がカブールに泊まれば、大乘経の極意をバンバンバンバンと教えてくれるわけ、大地の神々が。まあそういう事で呼ばれたのですね。というのはそこが、六千年の最高の富の町だったわけ。というのは輸出していたから。銅鉱山の上に今でもあるから。

【参加者】

あれは確かパキスタンの隣？

【水源師】

あれは西洋が分裂させたくらいであって、北インド全部統括していた。大帝国だったのです。バーミヤンのあの巨大な仏像を使ったのもそういう力があつたから出来る。だから最高の叡智がそこにあつたから、そこをイスラムが壊してしまった。壊したのは、いや私たちは壊してないとか、他の国の人に来て壊したと言い始める。守れなかったから。まあそういう事ですね。

【参加者】

そこからお出ましになられたわけですね。

【水源師】

そうです。だから今日もすーっと姿観て、右手に蓮の花、左手に籠、それはね、日本で言う多阿耨多羅三藐三菩提、または不動明王がドンドン、阿耨多羅三藐三菩提を人に上げている。結局その桃の形の、あるでしょう？

【参加者】

摩尼珠。

【水源師】

摩尼珠そうそう、で一杯差し上げますと言う。ここには、宝冠、大日如来がよく冠被るでしょう？あれはインドの冠。

【参加者】

王様がよく被っている。

【水源師】

そうそうあれを被っている。だから仏の中の仏なの。仏のキングなわけ、キングオブキング、仏のキングオブキング。大日如様の毘盧遮那仏。

正しい情報を得なければ大いに間違う、それだけ強烈

だからお釈迦様の仏道を進めばますます間違いなしと言う確信を得ましたね。それも正しい情報を得なければ、大いに間違う。それだけ強烈だからね。それで大いに間違っ、皆お釈迦様、オームと言うわけ。日本はオームという事で人を殺しているわけ。死刑になったけれども。だから間違えばこれくらい恐ろしくなってしまう。だからお釈迦様はいつもオームと言って祝福していたわけです。

これは、オームからすべてが始まるから、宇宙の発生。それは想像を絶する時空を超える時空の事をお釈迦様は、具現化してただこう観てくれる。だから宇宙人のその話も時空の話も、せいぜい化学は百五十億年とこの宇宙の発生が光のスピードで。

宇宙人はいや、千兆憶年時空を超える時空で私たちは存在すると、この宇宙は。もう桁が違うわけです。という事を英語が分かれば、四時間五時間近くビデオでそれをズーッと見て、仏教をよく分かっている人間は、ああよく合うなと、その話が。それが分からなければ何言っているかチンプンカンプン。

科学も分からなければいけない。だから科学と宗教、二つしっかり分かれば、この宇宙人が何を言っているかはっきり分かるけれど。

科学だけでもダメ、精神界だけでも意味することが分からない、というのは時空の測定が宗教家はカルパの事も、一体何が？カルパと言うだけで何も説明無いし、分かっている。だから宇宙人はこのカルパのその時空の事がよく分かって、詳しく説明している。

【参加者】

時空を超えて……難しい。

【水源師】

難しいよ。その、難しいのではなく皆さんが、そういう体験すれば「ああ、なーんだ」と、体験できないから、観えないから難しい。カーテン開けて観れば、物凄く明快で素晴らしい奇跡の世界で私たちは生きている。

だから命を無駄にしてはダメですよ。だから人の命を取ってはダメですよ。動物もむやみに殺してはダメですよ。それでデバダッタが攻撃する。「お釈迦様は肉を食べて、人が殺したものを食べているじゃないですか？これは矛盾しているのではないで

すか？」と。

ところが人間の頭でもそうなるわけです。そういう風に一言では言えない複雑なカルマの因縁が絡み合っているから。

【参加者】

そう言われればそう。

「死の行」を奨励したデバダッタと「命を生かす」お釈迦様

【水源師】

ね、そう言われれば普通の頭でそうだと言って、お寺を分裂させて全部お坊さん連れて行ったけれど、大目連尊者とシャリープトラ尊者が色々説法をして、もう一回全部連れ戻して来たわけ。

【参加者】

凄い良い事言っていたような気がする。

【水源師】

それが有名なデバダッタの五法、それをお釈迦様は付け加えてそれも良い、またそれも良いと五法と五法で十法になるわけ。それで今も続いて、ところが森の中、家も屋根もなしと、食事も貰いに行かないと、呼ばれないとどうして生きて行く？皆死んでしまう、今度死んでそれが素晴らしいとなる。お釈迦様は命を生かすことを説法しているのに、この方法では、サードゥサードゥと言って死ぬことを奨励している。まあ、そう言うサードゥを本当にやれば10日で死ぬと言っている。

サードゥの意味「良きかな」 デバダッタの「強烈な行」の意味も

【参加者】

サードゥってそのようにしますっていう言う事では？

【水源師】

そうではないわけで、サードゥというのは強烈なサードゥという行があるわけです。だから素晴らしい素晴らしいとなるけどそれを一ヶ月やって死んでしまう行なわけ、必ず。

それは間違い。お釈迦様は命を大切にしない。それは普通の人間にとっては、特攻隊で敵の軍艦に進んで行く、ああ素晴らしいと。人の命を本人じゃないわけですよ。

【参加者】

京都のゴエンカさんのところでは、例えばお釈迦様が仰ったことに対して皆で、全員で、「サードゥ、サードゥ、サードゥ」と。

【水源師】

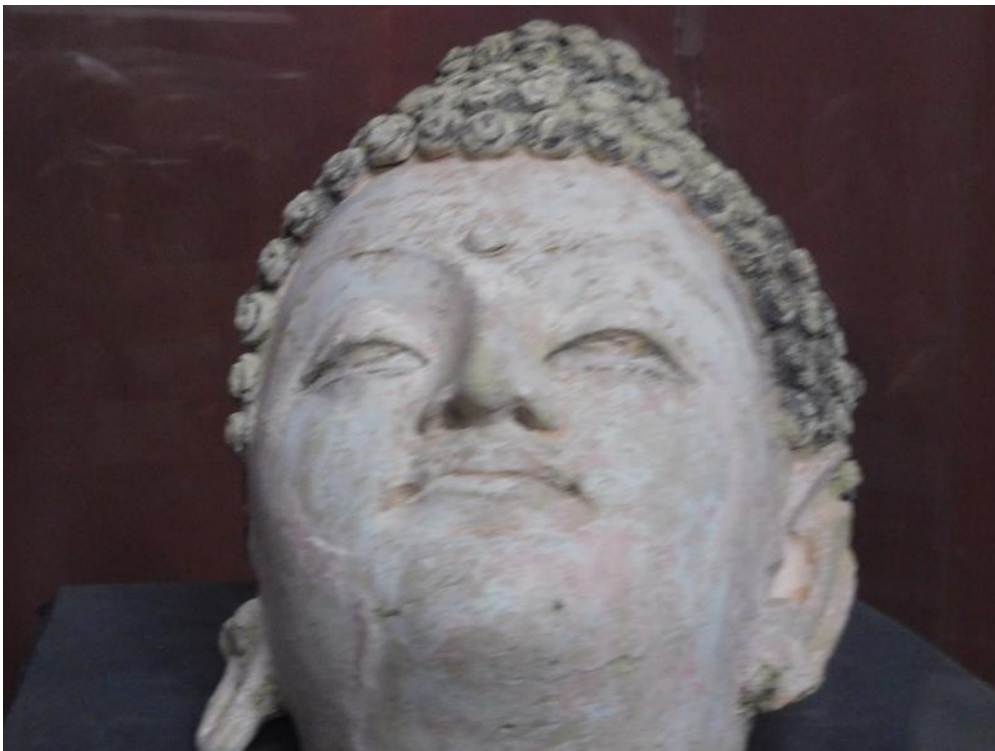
そうそう今は良きかな、良きかな、という言葉に変わっているけれど、本来のサードゥというのは、そういう意味。

【参加者】

そう言う意味合いもあるという事ですね。

【水源師】

そうそう。良き事をしていると言う意味に変わって。だから今でも、仏教でもサードゥ、サードゥ、強烈な行をしていると。それが本当に強烈な行をして、デバダッタの手法をやれば皆死んでしまう。恰好は良いけれども、という事で、解脱という事で京都で、その事を書いてこれは間違いだと私が言ったわけです。その通り、間違いです。死にます。死んで解脱は出来ない。またサンサーラ saṃsāra で生き返って、輪廻転生で、自分の命を殺すものだから、物凄く悪い結果が出てしまう。という事です。今日はこれで。



「仏頭」 カブールの博物館にて

水源禪師法話集 98

(2018 年 7 月 20 日 カナダ合宿一日目)

2019 年 2 月 25 日発行

編集兼発行 一乗禪の会